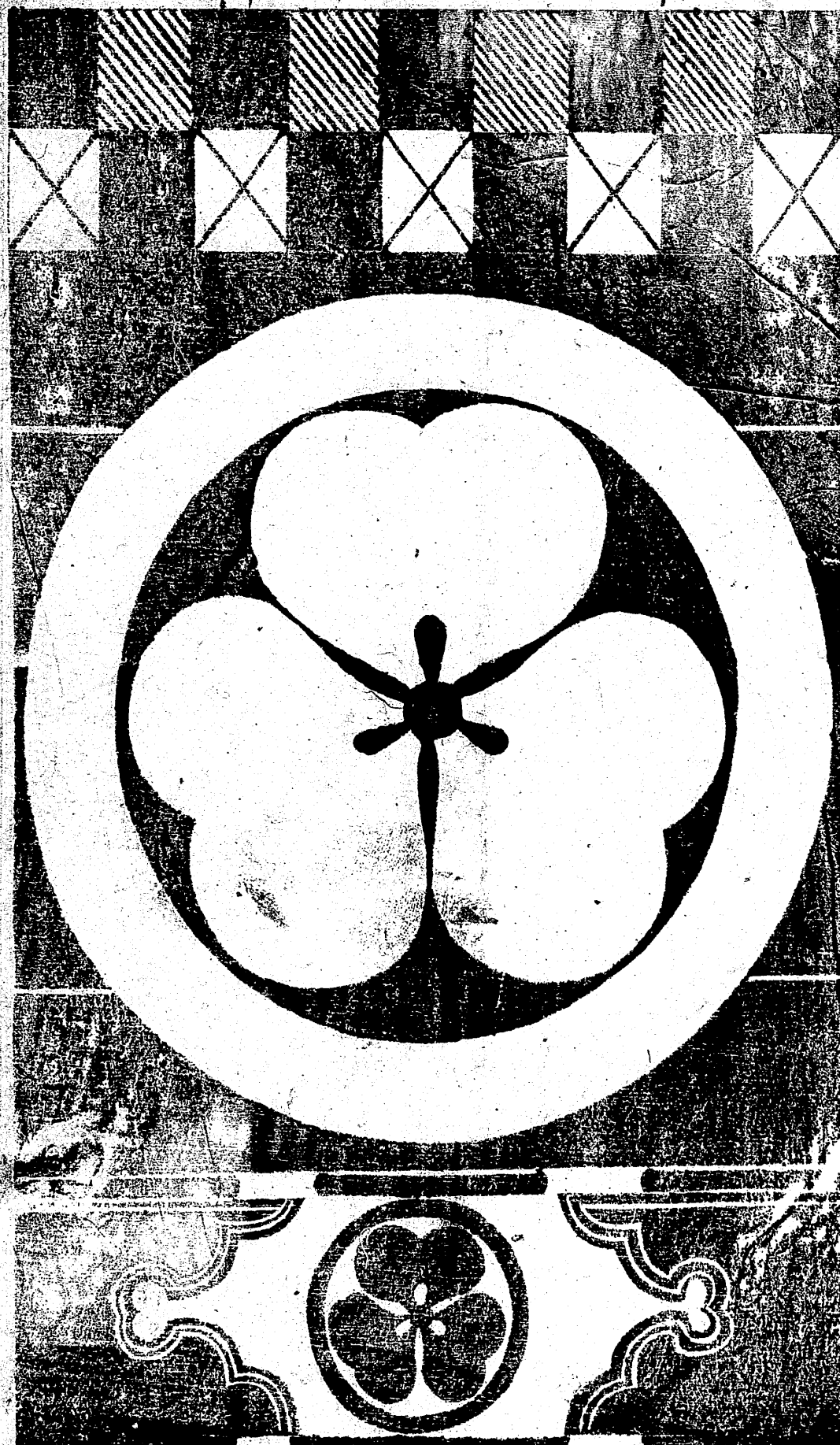


三十百

近世 22.7-08-001



④  
 後  
 示  
 用  
 守  
 正  
 記

かくて我が國の前途を憂はるる者多し。其の故は、  
 一、我が國の地味は、大抵、砂漠に乏し。故に、  
 農産物の生産は、常に天候に依りて、其の多寡を  
 定む。故に、天候の變遷は、我が國の前途に  
 大なる影響を及ぼす。二、我が國の人口は、  
 日増しに増加する。故に、食糧の不足は、  
 常に憂はるべき事なり。三、我が國の資源は、  
 大抵、石油に乏し。故に、工業の発展は、  
 常に困難を伴ふ。以上、我が國の前途を  
 憂はるる者の、三つの理由なり。

聖八七盛字節

此の書は、我が國の前途を憂はるる者の、  
 三つの理由を、詳しく述べたものである。

去る方條の

池條より

まり也

此の書は、我が國の前途を憂はるる者の、  
 三つの理由を、詳しく述べたものである。

金澤市の歴史

舟一

富の國の境内の

舟一

此の書は、我が國の前途を憂はるる者の、  
 三つの理由を、詳しく述べたものである。

舟二

舟二

舟二

此の書は、我が國の前途を憂はるる者の、  
 三つの理由を、詳しく述べたものである。

舟三

舟三

舟三

此の書は、我が國の前途を憂はるる者の、  
 三つの理由を、詳しく述べたものである。

舟四

舟四

舟四

此の書は、我が國の前途を憂はるる者の、  
 三つの理由を、詳しく述べたものである。



